

アルバニア国小規模農家金融包摂プロジェクト ニュースレター(第3号)

2021年3月発行

2020年以降世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症はアルバニア国内でも猛威を振るっており、特に農業を生業とする小規模農家は経済活動や都市間移動の禁止措置の影響を受けて収入機会を失い、困窮の声を上げています。プロジェクトではこうした小規模農家への支援策として「農業投入材購入支援スキーム」を開始し、2020年後半に実施いたしました。今回のニュースレターではその内容および結果、そして2021年に実施を予定している同スキームの第2ラウンドの概要についてご紹介いたします。

1. 新型コロナウイルス感染症のアルバニアの小規模農家への影響

2020年3月以降のアルバニア国内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、アルバニア政府は経済活動の禁止や外出制限などの各種緊急措置を講じ、国内経済市場は大きな影響を受けました。また、海外への輸出入量も大きく減少し、2020年4月の輸出入量は前年比でそれぞれ44%減、37%減となりました¹²。こうした経済へのダメージは農産物市場にも現れており、農産物価格の下落や農豪投入材価格の高騰

ら、アルバニア政府の補償政策は主としてフォーマルセクターの雇用補償であったため、多くの小規模農家は支援の対象となりませんでした。

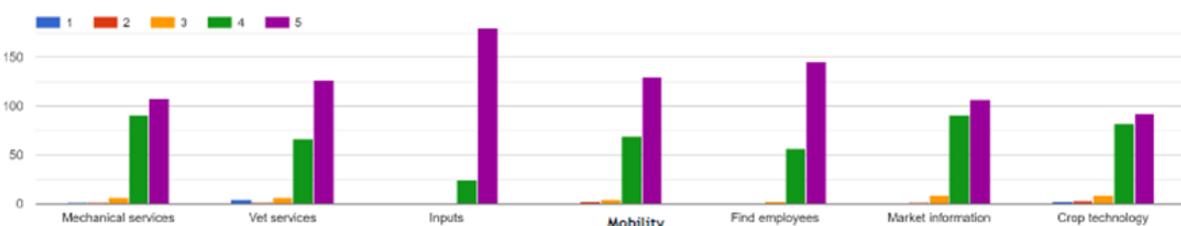
2. プロジェクトによる新型コロナウイルス感染症影響調査の実施

新型コロナウイルス感染症の小規模農家への影響を正しく把握するべく、プロジェクトでは2020年5月に質問票調査を実施しました。年収100万アルバニアレック（約100万円）以下の小規模農家205世帯を対象とした調査の結果、以下の3つの点が主要な影響として判明いたしました。

① 農業投入財の入手や農業関連サービスへのアクセスが困難となった

全体の9割の農家が新型コロナウイルス感染症の影響により移動が制約されたり流通がストップしたりしたことにより投入財の入手が非常に難しくなると回答しました。

B3 Due to COVID 19, did you have any difficulties in accessing the following? 1 not at all; 2 minimum; 3 slightly; 4 clear impact; 5 significant impact



新型コロナウイルス感染症の影響でアクセスが困難になった農業関連サービス（出典：プロジェクトチーム）

これらの影響は農産物市場にも現れており、農産物価格の下落や農豪投入材価格の高騰

最新の調査では電子送金を利用したことがあ

る成人の割合はわずか4%³でしたが、新型コロナ

¹ EBRD (2020) Responding to the Coronavirus Crisis - Update on Albania

² UN (2020) Albania COVID-19 Socio-economic recovery and response plan

³ WB (2018) The Little Data Book on Financial Inclusion 2018

ナ感染症の影響により外出が禁止されたため、調査対象の9割以上の農家がインターネットによる電子支払に関心を示すようになりました。

③ 緊急融資と農業保険への顕著なニーズ

ほぼ全ての回答者が収入が減少する見込みだと回答しました。そうした収入の減少に対処するための新たな金融サービスとして、事業継続のための緊急融資や損失を補填するための農業保険を希望する声が多く聞かれました。

3. 農業投入材購入支援スキーム第1ラウンドの実施

これらの調査結果を踏まえ、プロジェクトでは新型コロナウイルス感染症の影響を受けたアルバニアの小規模農家への緊急支援策として、特に①の点にフォーカスを当てた「農業投入財購入支援スキーム」を2020年8月から11月に掛けて実施いたしました。同スキームはFED investから農業目的の小規模融資を申請し、承認を受けた250の野菜農家を対象に、プロジェクト指定の店舗での投入財の購入に対して1農家あたり40,000アルバニアレック（約40,000円）を支援するというものです。同スキームの実施にあたっては、プロジェクトで導入を支援したコアバンキングシステムを活用して提供が可能となった当座預金口座の開設を農家や投入財販売店が支援金の受給のために、金融包摂の促進の観点にも配慮がなされました。



プロジェクトの支援で投入材を購入する農家

購入された投入材で最も多かったものが肥料（、続いて殺虫剤、種子、温室栽培用の資機材であり、今回の支援金が実際に農業生産の継続のために緊急性の高い投入材の購入に充てられた様子が見えがえます。また、支援を受けた農家からは多くの感謝の声が寄せられ、新型コロナウイルス感染症の影響で金融サービスの利用が全国的に低調となる中、プロジェクトの実施機関であるFED investの評判を高める結果となりました。今回の支援により、顧客農家の農業生産が継続されることで彼らの収入が向上し、その結果FED investにおける金融サービスの利用機会も増加することが予想されます。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模農家がフォーマルな金融サービスから「排除（exclude）」されることなく、引き続き彼らの金融「包摂（inclusion）」を実現することが可能となりました。

4. 農業投入材購入支援スキーム第2ラウンドの実施

第1ラウンドの成功を受け、2021年には支援対象農家を1,000世帯に拡大し、投入材支援スキームの第2ラウンドを実施する予定です。第2ラウンドでは、第1ラウンドでアウトリーチできなかったアルバニアの遠隔地域に住む小規模農

家にも支援の対象を広げ、全国の農家に必要な支援を届け、プロジェクト指標の 1 つでもあるアルバニア全地域における金融包摂を促進することを目指しております。

今回のように会員農家の生の声やニーズに基づき支援策を実施し、会員の FED invest に対するロイヤリティーの上昇に貢献したという事例は、プロジェクトの基本方針である「顧客中心主義」の実践という観点において非常に示唆に富む成功事例であり、金融包摂シンクタンクである世銀 CGAP (Consultative Group to Assist the Poor) も関心を示しております。第 2 ラウンドが成功した暁には、より多くのドナーや金融機関の注目を集め、金融機関による新型コロナウイルス感染症影響下の小規模農家に対する有用な支援策の一例として広がっていくことを期待しています。



支援スキームに参加する投入材購入店店主

編集・お問合せ
 (株)かいはつマネジメント・コンサルティング 弓削田高大
 Tel: 03-5791-5083 Mail: yugeta.kodai@kmcinc.co.jp
 HP: <http://www.kmcinc.co.jp>